

2026 年度日本東洋医学会関西支部例会

日時：2026 年 10 月 25 日 10：00～16：00

会場：和歌山県民文化会館 小ホール＋オンデマンド配信

プログラム（敬称略）

代議員会 9：15～9：45

開会挨拶 10：00 山田 伸（和歌山県部会 会長）

一般演題 10：05～11：20

1. 桃核承気湯が有効であった胃経是動所生病の自傷行為の一例

○近藤哲哉 関西医療大学

2. 当帰四逆加呉茱萸生姜湯とミロガバリンの併用が奏功した小児の歩行障害の一例

○間嶋 望¹⁾、吉田 麻美²⁾、鳥井 理那¹⁾、佐野 博昭¹⁾

1) 大阪医科薬科大学病院 麻酔科・ペインクリニック

2) 藍野病院 内科

3. 当院における神田橋処方の使用経験について

○西田慎二 にしだクリニック

4. 様々に思いが廻った少陰病・真武湯証の症例

○黒瀬喜久雄 黒瀬クリニック

5. 傷寒論、陽明病熱証。白虎（加人参湯）の謎

○田中秀一 田中医院

会頭講演 11：30～12：00

「使って分かる煎じ薬の魅力～私の記憶に残る症例～」

○山田 伸（日本赤十字社和歌山医療センター漢方内科）

座長：吉田麻美（藍野病院）

ランチョンセミナー 12：30～13：30

「生薬温故知新：伝統知とデータサイエンスの交差点」

○有田龍太郎（東北大学病院 漢方内科）

座長：岡安 唯（奈良県立医科大学漢方診療センター）

教育講演 13：40～14：40

「生薬確保の現状と取り組みについて～十味敗毒湯の生薬の産地を巡りながら～」

○野村秀一（（株）ツムラ大阪支店 医薬情報課）

特別講演 14：50～15：50

「本学における漢方教育の取り組みと生薬由来成分から見出した新規作用メカニズムの抗アレルギー薬候補物質」

○田村 理（和歌山県立医科大学薬学部 天然物化学研究室）

座長：山田 伸（日本赤十字社和歌山医療センター漢方内科）

閉会挨拶 山田 伸（和歌山県部会 会長）